

「わがまち知ろうプロジェクト」出前講義を開催しました ～ビッグデータを地域看護に～

平成29年12月7日、香川県立保健医療大学にて
RESAS出前講義を行いました。



講義をする後藤主任研究員

辻准教授の担当する授業には、看護学科生のうち、保健師を目指す学生18名と林助教が参加しました。

同講義は「わがまち知ろうプロジェクト」の一環として行われ、香川県教育委員会の方も見学されました。

講義内容は……

第1部「地域分析のヒント」

学生にRESASを操作してもらいながら、地域データの収集・活用の仕方を説明しました。

第2部「どうする？ 増加する社会保障費

少子高齢化における医療費の増加について財政面からの状況を解説しました。



チームに分かれてワークショップ



発表する学生たち

授業の最後には、増加する医療費について収入と支出の観点から課題を見つけ、ワークショップ形式で議論し、解決策を発表しました。ワークショップに慣れていない学生も多かったのですが、医療についての考えをより深めるきっかけになったようです。講義の感想アンケートを読んで、「ワークショップ勉強になりました」「地域データを演習や実習に役立てたい」との声が多く、香川にはこんなに意識の高い看護師・保健師の卵たちがいてくれることに感動で胸が熱くなりました。ありがとうございました。

**私たちは、
未来にはばたくあなたを応援します！**